10 持続可能な開発のための教育（ESD）・持続可能な開発目標（SDGs）

1 持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）とは

今、世界には環境、貧困、人権、開発といった様々な地球規模の問題がある。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組み、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動である。

ESDの実施には特に次の二つの観点が必要である。

(1)人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと

(2)他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと

環境、平和や人権等のESDの対象となる様々な課題への取組をベースにしつつ、環境、経済、社会、文化の各側面から学際的かつ総合的に取り組むことが重要である。

文部科学省 HP より

2 持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは

2015年9月にニューヨーク国連本部において開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150 を超える加盟国首脳の参加のもと「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択された。この中で、人間、地球及び繁栄のための行動計画として掲げられた目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」である。現在、2030年を期限に「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組んでいるところである。

SDGsの特徴

・普遍性…先進国を含め、全ての国が行動

・包摂性…人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」

・参画型…すべてのステークホルダーが役割を

・総合性…社会・経済・環境に総合的に取り組む

・透明性…定期的にフォローアップ

3 学校における取組（国立教育政策研究所の提案から）

<ESDの視点に立った学習指導の目標>

持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付ける。

（1）課題を見いだすための視点（持続可能な社会づくりの構成概念(例)）

人を取り巻く環境に関する視点	Ⅰ 多様性・・・・いろいろある Ⅱ 相互性・・・・関わり合っている Ⅲ 有限性・・・・限りがある
人の意思や行動に関する視点	Ⅳ 公平性・・・・一人一人大切に Ⅴ 連携性・・・・力を合わせて Ⅵ 責任性・・・・役割や責任を持って　　など

（2）身に付けたい力（ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度(例)）

① 批判的に考える力
　合理的・客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力
② 未来像を予測して計画を立てる力
　過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力
③ 多面的、総合的に考える力
　人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力
④ コミュニケーションを行う力
　自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力
⑤ 他者と協力する態度
　他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする力
⑥ つながりを尊重する態度
　人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度
⑦ 進んで参加する態度
　集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

（3）指導を進める上での留意事項（ESD の視点に立った学習指導を進める上での留意事項(例)）

A 教材のつながり
（学習課題や学習内容などを内容的・空間的・時間的につなげること）
B 人のつながり
（学習者同士、学習者と他の立場・世代の人々、学習者と地域・社会などをつなげること）
C 能力・態度のつながり
（身に付けた能力・態度を具体的な行動に移し、実践につなげること）

　具体的な課題の発見・探究・解決の過程で、児童生徒自ら持続可能な社会づくりに関する価値観を身に付け、自らの意思を決定し、行動を変革していくことができるように配慮することが大切である。

4 ユネスコスクール

　ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示された理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践するユネスコが認定する学校である。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付けている。

参考：ユネスコスクール加盟校